



平成 25 年 8 月 12 日

報道関係各位

情報教育シンポジウム（SSS2013）開催のお知らせ

今年で 15 回目となる「情報教育シンポジウム(SSS2013:Summer Symposium in Shizukuishi 2013)」が 8 月 18 日から 20 日まで岩手県雫石町の「休暇村岩手網張温泉」で開催されます。

SSS2013 は情報処理学会「コンピュータと教育研究会」と「教育学習支援情報システム研究会」が主催する情報教育に関する国内最高峰のシンポジウムであり、2 泊 3 日の期間中に、今年は 35 件(口頭発表 26 件、デモ・ポスター発表 9 件)の研究発表と招待講演を予定しています。

当日のご取材についてよろしくお願ひします。

記

1. 日 時

平成 25 年 8 月 18 日(日)13:30 ～ 8 月 20 日(火)12:00

2. 場 所

休暇村岩手網張温泉(〒020-0585 岩手県岩手郡雫石町網張温泉)

3. 参加予定者

大学教員 65 名、高校教員 5 名、大学生 16 名、合計 86 名

4. 「情報教育シンポジウム（SSS2013：Summer Symposium in Shizukuishi 2013）」について

情報処理学会「コンピュータと教育研究会」と「教育学習支援情報システム研究会」が主催する情報教育に関する国内最高峰のシンポジウム。(大会委員長:竹村治雄(大阪大学)、実行委員長:高木正則(岩手県立大学))

国内の大学教員や高校教員が 2 泊 3 日の宿泊形式で参加し、情報教育、教育学習過程の情報化、教育学習支援環境などコンピュータと教育に関する様々なテーマの研究発表や討議などを行います。

※詳しくは別紙実施要領をご覧ください。

5. 内 容

(1) 研究発表:35 件(口頭発表 26 件、デモ・ポスター発表 9 件)

(2) 招待講演:①「オープンエデュケーションの可能性と MOOCs のインパクト」

(北海道大学情報基盤センター 重田勝介准教授)

②「東日本大震災時における情報通信手段の問題点と今後必要とされる技術について」

(岩手県立大学 柴田義孝副学長・ソフトウェア情報学部教授)

6. シンポジウムのホームページ

<http://ce.eplang.jp/?SSS2013>

本件に関する問合せ先 岩手県立大学ソフトウェア情報学部 講師 高木正則

E-mail: takagi-m@iwate-pu.ac.jp

TEL:019-694-2566, FAX:019-694-2567



〒020-0193 岩手県岩手郡滝沢村滝沢字巣子152-52 www.iwate-pu.ac.jp/

これは最も強靱な形状といわれる「ハニカム構造」をモチーフに、県立大学と短大、大学校との結びつき、県民との強いつながりを表しています。
Copyright © 2011 IPU All Right Reserved.

情報教育シンポジウム(SSS2013)実施要領

1. シンポジウムの名称：情報教育シンポジウム

(愛称) SSS2013 -- Summer Symposium in Shizukuishi, 2013 --

2. 開催の趣旨

2002年度から小中学校における情報教育が増強され、さらに2003年度からは高等学校において新教科「情報」が開始されるなど、情報教育の環境は制度面からは着々と整備されつつあるように見える。しかし、教科「情報」が開始されてから10年目を数える現在、実際の教育現場では、急激に変化する情報社会に教育者が追いつけない、教育機関ごとに学習内容に大きなばらつきが生じているなど、本来の情報教育の目標が必ずしも達成されているとは言い難い状況にある。2011年度から初等中等教育の学習指導要領が段階的に改訂され、情報教育の内容も現状の問題点をふまえて改訂されていくことになるが、教育内容が未だ確立される途上にある情報教育の変化にいかに対応していくか、教育内容や教育方法について改善のための努力が必要である。

一方、2010年以降、スマートフォンやタブレット端末など高性能な個人用端末が急速な普及を見せるなど、計算機を有効に学習/教育活動に活用する“教育の情報化”も、道具となる計算機の高性能・低価格化に伴ってその可能性をさらに拡大し続けているといえる。さら Open Educational Resource や Massively Open Online Courses といった情報技術を用いて教育コンテンツや教育を無償で公開する試みが欧米で急速な伸びを見せている。これらの取り組みが教育学、あるいは教育工学的にどのように評価されるかはこれからであるが、学術的な視点から、本来あるべき教育の情報化とはどのようなものなのか積極的に情報発信し、教育者やシステム開発者らと情報共有していく必要性がますます高まっていると考えられる。

コンピュータと教育研究会は、情報教育や教育の情報化に関する問題やアイデアの議論を深める場として、宿泊形式の情報教育シンポジウム SSS を1999年以来開催してきた。また2010年より SSS は教育学習支援情報システム研究会との共同開催へと移行し、情報教育、教育の情報化に関する議論の範囲をより拡大することとなった。2013年も前年と同様、情報教育や教育学習支援システムの専門家、初等中等教育の教員を中心とする教育の専門家、教育ソフトウェア・教育コンテンツ作成に関わる企業の専門家の方々など幅広い分野の参加を募って、実り多い議論を実現することとしたい。

3. 主催 一般社団法人 情報処理学会 コンピュータと教育研究会
教育学習支援情報システム研究会

4. 共催 一般社団法人 情報処理学会
情報処理教育委員会
コンピュータ科学教育委員会
情報システム教育委員会
ソフトウェアエンジニアリング教育委員会
コンピュータエンジニアリング教育委員会
インフォメーションテクノロジー教育委員会
ア kredィテーション委員会
一般情報教育委員会
高専教育委員会
初等中等教育委員会

5. 協賛 教育システム情報学会
日本教育工学会
日本情報科教育学会
(社)電子情報通信学会教育工学研究専門委員会(順不同)

6. 後援 文部科学省
岩手県教育委員会